



八戸市

令和5年度

旧柏崎小学校跡地広場ワークショップ

第1回開催報告かわら版

旧柏崎小学校の跡地を広場にするために、

どんなことが大事か、どんな活動が想定されるか、話し合いました！



旧柏崎小学校の跡地を広場にするため、八戸市は住民の方々と意見交換を行うワークショップを開催しています。「どんな広場を目指すのか」「広場には何が必要か」「どんな形の広場にするのか」などについて話し合います。

地域や関係団体から約40名の代表者に参加していただき、この方々で全3回のワークショップを行います。

また、地域の子どもたちがどんな広場が望んでいるのかを把握するため、柏崎小学校の児童を対象にアンケート調査を行い、ワークショップの参考としています。

第1回を9月28日に開催し、「対象地の過去～現在～未来」「具体的な活用場面」「必要な機能」などについて話し合いました。主な意見は次の通りです。

第1回の意見抜粋

旧柏崎小の思い出

- 子どもたちの様子：昔はボール遊び、自然の中での遊びが盛んだったが、今は減少している。
- 学校の様子：昔は児童数が多く賑やかだった。凧あげ、映画会、星空観察会などの活動があった。

地域の現在

- 子どもたちの様子：子どもたちが遊ぶ場が減少している。
- 行事：盆踊りを地域ごとに開催している。山車運営は人手不足であり助っ人が入っている。
- 防犯：治安が悪化している。街灯が不足している。

どんな広場を目指すか

- 子どもが元気に遊べる場
- 誰もが自由に憩える場
- 観光交流の役割を担う場
- 三社大祭を次世代につなげる場
- 人とのつながりをつくる場



今後のスケジュール

第2回

10月26日(木)18:30-20:30
 検討内容
 ・広場には何が必要か
 ・広場のコンセプト

第3回

12月11日(月)18:30-20:30
 検討内容
 ・どんな形の広場にするのか
 ・設計案についての印象